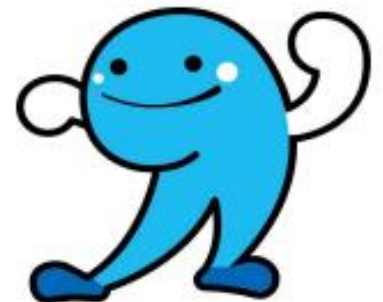


高知県におけるスペーススポーツ開発に関する取組

令和 8 年 7 月 1 日
高知県



高知県におけるスペースポート開発に関する経緯（～R7年度）

（一社）スペースポート高知

- 令和7年2月（一社）スペースポート高知設立
【設立目的】

日本の宇宙輸送発展及び高知の地域経済を活性化するため、スペースポートを高知に開港することを目的として設立

- 会員数（令和8年6月時点）
企業会員・・・48社
個人正会員・・・26名
賛助会員・・・9団体（うち自治体2団体）

- 令和7年4月より勉強会を開催

- クラウドファンディングにてスペースポート構想の模型・CGを作成

- 県内小学校等で出前授業を開催

- 高知県への政策提言（令和7年10月）

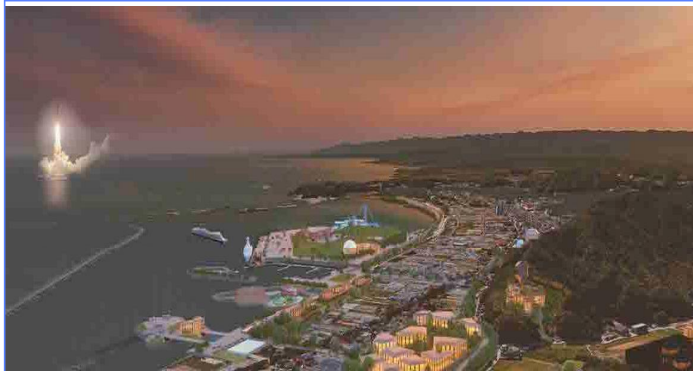


高知県

- スペースポート高知主催の勉強会に参加
- 先進地への現地調査及び意見交換
- 国、専門家等との意見交換
- 提言受理後、研究会設立や体制等について検討

一般社団法人スペースポート高知から県への政策提言について

提言の核



提言
1

スペースポート高知の開港検討

— 陸上・洋上射場の可能性を探る —

提言
2

専任部署と専門人材の設置

— 官民連携で実効性ある体制づくり —

提言
3

成長戦略としての位置づけ

— 県産業振興計画に宇宙産業を組み込む —

スペースポートのコンセプトと具体案

スペースポートのコンセプト

① 多様な打上げ能力の確保

複数のロケットを同時に運用可能とし、小型から大型ロケットまで幅広く対応し、多様な需要に柔軟に応え、打上げ高頻度化に寄与。高頻度化を実現するためには洋上打上げも大きなポテンシャルがある。

③ 中核都市近郊への設置

中核都市からの距離も近く、人材確保・労働市場へのアクセス、物流コスト、建設コストの削減につながる。商業・宿泊・飲食・サービス産業と連携し、観光需要や滞在需要を創出し、経済効果の最大化を期待。

② アクセスの多様性

陸・海・空からの交通インフラが整備され、人の移動、物の移動が容易となる利便性の高いスペースポートとして機能。国内外からのアクセスを容易にし、産業振興と地域振興を同時に実現し、高い経済波及効果も期待。

④ 宇宙産業集積と周辺産業の誘致による地域経済活性化

宇宙産業集積と周辺産業の誘致によって地域経済を活性化。ロケットの組立・試験場や整備場・保管場所などを併設し、設計から打上げ、運用・整備までを一体的に行える産業エコシステムを形成。

スペースポートと高知県の適合性

● 陸上射場

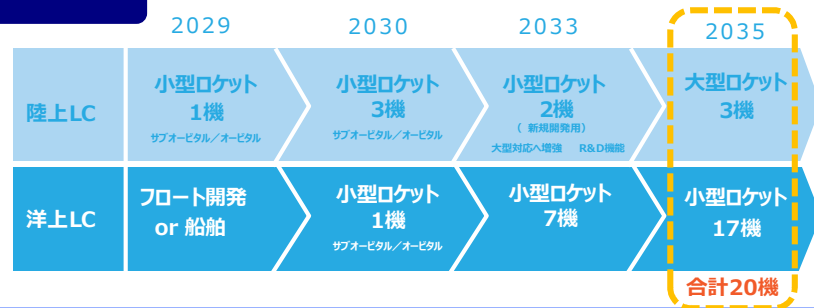
高知市および同市から自動車で約1時間圏内の西部沿岸域は、アクセス性・運用の即応性から陸上射場の有力候補。陸上射場は実績があり実現性は高く、開発コストと期間も低く抑えられる。一方で、本県は平野部面積が限られ、土地の確保は容易ではない。

● 洋上射場

洋上射場は、用地制約や安全距離確保をクリアし得る有力な選択肢。船舶等の拠点となる港は、中核都市近郊に設けることができ、利便性に優れ拡張性も高い。県内企業中心に射場開発も可能。しかし、国内での本格運用事例は無く、開発コストや期間は不透明である。

スケジュールと打上げの本数案

まず2029年の小型ロケットの打上げが目標。2035年までの計画は、陸上射場と洋上射場を整備し、年間20機の安定運用が目標。さらに再使用ロケットの回収・整備・保管にも対応していく。



スペースポート開発に関する令和8年度の取組について

産業振興推進部産業イノベーション課に「宇宙産業担当チーフ」を配置。また、スペースポートの実現可能性について研究・調査のため以下の取組を実施。

1. スペースポート実現可能性研究会

設置目的

高知県におけるスペースポート開発の実現可能性等について研究するため、産業界、高等教育機関、有識者、行政機関で構成する「研究会」を設置



第1回 調査項目の選定

4月20日

国の政策動向の共有（内閣府）、提言内容の共有および基礎調査項目の選定・意見交換

第2回 先行事例共有と中間報告

9月中旬

先行事例の共有、委託事業者による基礎調査の中間報告、提言の妥当性の意見交換

第3回 結果報告と実現可能性の検討

1月下旬

委託事業者による基礎調査の結果報告を踏まえた意見交換と実現可能性についての検討

2. 宇宙関連事業調査

業務目的

スペースポートに必要とされる施設設備や地理的条件、需要等に関する基礎的な調査を行うとともに、実現可能性について評価する

7月上旬
調査開始

9月中旬
中間報告

1月下旬
結果報告

調査項目

① 需要

- ・国内外ロケット企業の動向等の整理
- ・県内の打上げ需要の分析

② 適地

- ・射場に求められる一般的要件整理
- ・県内適地の提案および適地条件等の整理

③ 事業収支の見通し

- ・イニシャルコスト、ランニングコストの概算額の算出および事業性評価

④ スケジュール

- ・運用開始までの想定スケジュールを整理

⑤ 経済波及効果

- ・概算額を算出（建設効果、観光振興、雇用創出、関連産業への影響等）

⑥ 洋上射場

- ・技術開発の動向や需要等の状況、今後の見通しのとりまとめ

<参考> 高知県におけるスペーススポーツ実現可能性研究会 会員・オブザーバー名簿

○会員 (敬称略)

区分	氏名	所属・役職
産業界	古谷 文平	一般社団法人スペースポート高知 代表理事
	小松 聖児	一般社団法人スペースポート高知 理事
	西山 彰一	高知県商工会議所連合会 会頭
	岩井 俊介	株式会社四銀地域経済研究所 代表取締役社長
高等教育機関	中澤 純治	国立大学法人高知大学 副学長（地域連携担当） 地域協働学部 教授
	楠川 量啓	高知県公立大学法人高知工科大学 システム工学群長 教授
有識者	白坂 成功	慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 委員長/教授
行政機関	山崎 敬造	高知県市長会 事務局長
	笹岡 貴文	高知県町村会 事務局長
	井上 隆雄	高知県産業振興推進部 副部長

○オブザーバー

氏名	所属・役職
井出 真司	内閣府宇宙開発戦略推進事務局 参事官
竹森 祐樹	株式会社日本政策投資銀行 執行役員イノベーション投資部長